

2018年11月期 第2四半期決算説明資料



平成30年7月12日
ニッセイ(日本毛織株式会社)
東証第1部 3201

2018年11月期第2四半期 ハイライト



2018年11月期第2四半期実績は前年同期比で増収減益

売上高 532.3億円（前年同期比 2.4%増 ↑）

営業利益 35.7億円（前年同期比 12.4%減 ↓）

経常利益 38.2億円（前年同期比 3.9%減 ↓）

親会社株主に帰属する

四半期純利益 23.0億円（前年同期比 13.4%減 ↓）

目次

I. 2018年11月期第2四半期 実績	P 4～
II. 2018年11月期 業績予想	P 13～
III. 株主還元	P 23～
IV. トピックス	P 27～
V. 参考資料	P 32～

I. 2018年11月期第2四半期 実績

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



連結業績の概要について



(金額:百万円)

	第2四半期実績			前年同期比増減		業績予想進捗
	2016/11期	2017/11期	2018/11期	金額	比率 (%)	(%)
売上高	49,603	51,980	53,230	1,250	2.4%	47.1%
営業利益	3,936	4,082	3,576	-505	-12.4%	44.7%
営業利益率	7.9%	7.9%	6.7%	-1.2%	-	-
経常利益	3,919	3,985	3,828	-157	-3.9%	45.0%
特別損益	691	55	-92	-147	-	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,084	2,660	2,304	-356	-13.4%	43.5%

2018年11月期第2四半期の業績は、人とみらい開発事業や生活流通事業が好調に推移しましたが、衣料繊維事業が前年同期比で減収減益となりました。

セグメント別業績の概要

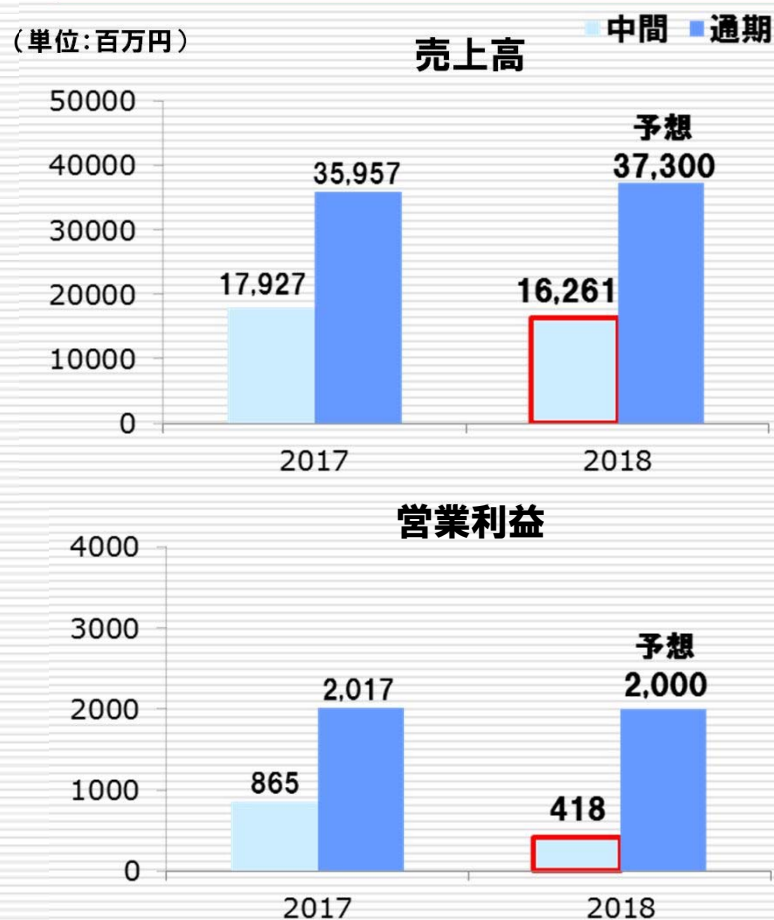
ニッパグループ

(金額:百万円)

		第2四半期実績		前年同期比増減	
		2017/11期	2018/11期	金額	比率 (%)
衣料繊維	売上高	17,927	16,261	-1,665	-9.3%
	営業利益	865	418	-446	-51.7%
	営業利益率	4.8%	2.6%	-2.2%	-
産業機材	売上高	10,518	10,648	129	1.2%
	営業利益	843	655	-187	-22.3%
	営業利益率	8.0%	6.2%	-1.8%	-
人とみらい開発	売上高	17,159	19,395	2,236	13.0%
	営業利益	2,732	2,798	65	2.4%
	営業利益率	15.9%	14.4%	-1.5%	-
生活流通	売上高	6,374	6,925	550	8.6%
	営業利益	450	502	52	11.7%
	営業利益率	7.1%	7.2%	0.1%	-
その他調整	営業利益	-808	-798	10	-
合計	売上高	51,980	53,230	1,250	2.4%
	営業利益	4,082	3,576	-505	-12.4%
	営業利益率	7.9%	6.7%	-1.2%	-

衣料繊維事業の概況

ニッケグループ



前年同期比で減収減益

売上高 16,261百万円 9.3%減↓

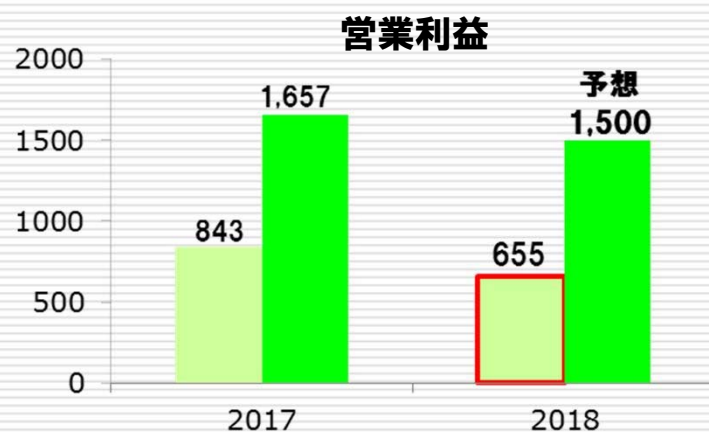
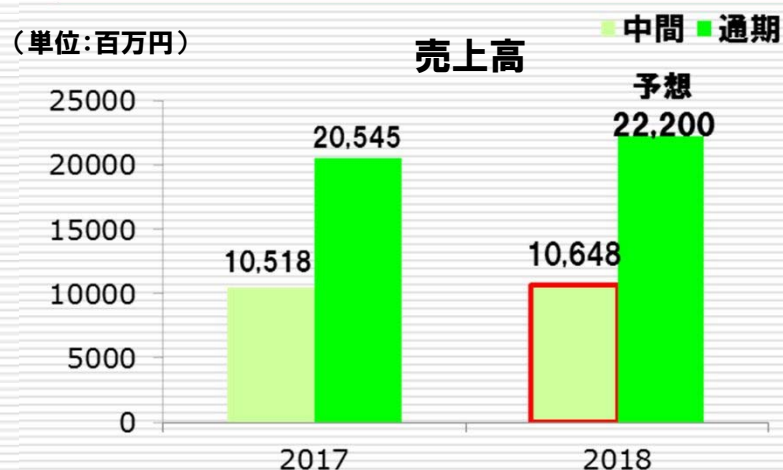
営業利益 418百万円 51.7%減↓

<業績概要>

原料高騰に伴う売糸需要の減少や学校服用素材の備蓄時期調整による販売減、一般衣料用素材の国内向け販売一部後倒しの影響等により、減収となりました。営業利益は、販売減に加え、羊毛原料高騰のコストアップ等により、減益となりました。

産業機材事業の概況

ニッケグループ



前年同期比で増収減益

売上高 10,648百万円 1.2%増 ↑

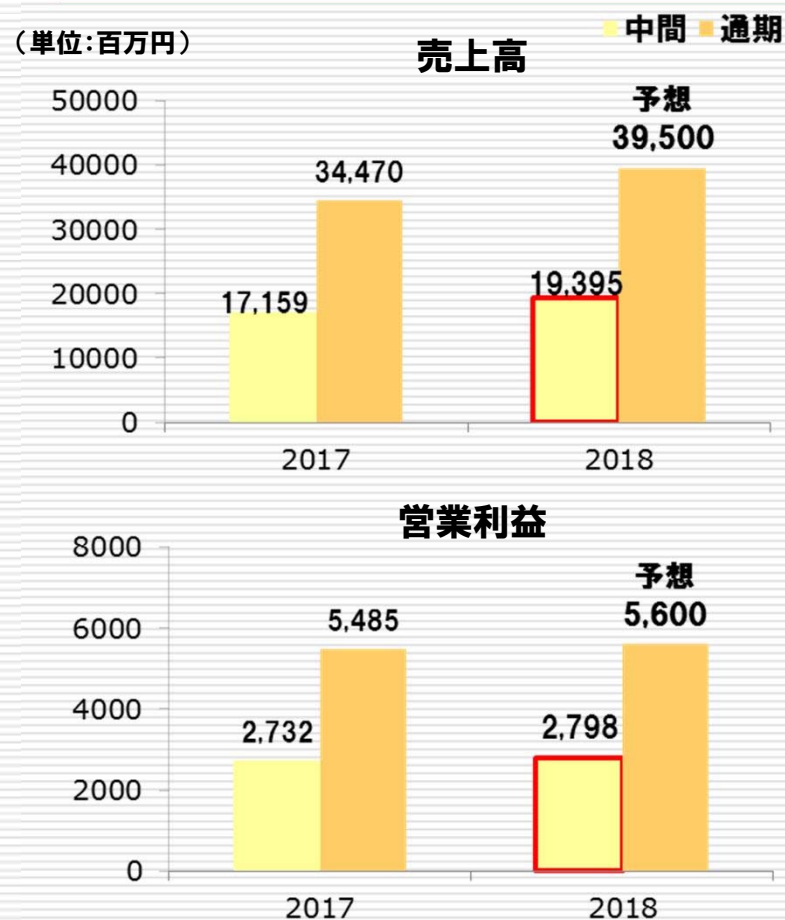
営業利益 655百万円 22.3%減 ↓

<業績概要>

当第2四半期より新規連結の(株)エミーの業績が寄与し増収となりましたが、車載電装品製造ラインのFA装置の期首繰越案件が前期より少なかったことや、環境用フィルター等の原料入手難の影響により、減益となりました。

人とみらい開発事業の概況

ニッケグループ



前年同期比で増収増益

売上高 19,395百万円 13.0%増 ↑

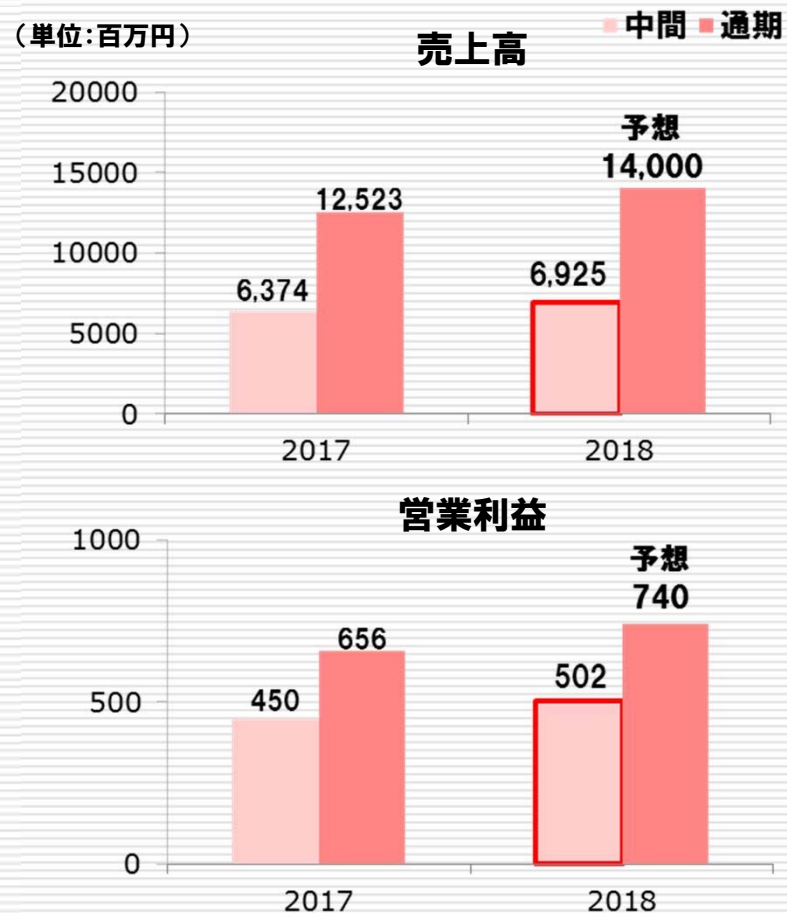
営業利益 2,798百万円 2.4%増 ↑

<業績概要>

介護事業でグループホームや特定施設の入居が進んだことやキッズ事業、保育事業等の新規施設が貢献し増収となりました。加えて、商業施設運営事業はリニューアル効果等で好調を維持し、増益となりました。

生活流通事業の概況

ニッケグループ



前年同期比で増収増益

売上高 6,925百万円 8.6%増 ↑

営業利益 502百万円 11.7%増 ↑

<業績概要>

寝装品及びインテリア用品を主とするEコマース事業で軽寝具やOEM商材が好調だった事や、ホビークラフト用事業が国内向け・海外向け販売とも好調に推移し、増収増益となりました。

連結貸借対照表/連結CF サマリー



(金額:百万円)

連結貸借対照表	2017/11	2018/5	増減	連結C/F	2017/2Q 累計	2018/2Q 累計	増減
流動資産	65,815	68,238	2,422	営業活動によるキャッ シュフロー	2,811	2,077	-733
固定資産	75,308	75,398	89	投資活動によるキャッ シュフロー	-2,086	-2,969	-882
資産合計	141,124	143,636	2,511	財務活動によるキャッ シュフロー	1,724	1,066	-657
流動負債	34,814	39,201	4,386	現金及び現金同等物の 四半期末残高	16,802	16,264	-537
固定負債	17,241	15,228	-2,013				
負債合計	52,056	54,430	2,373				
株主資本	80,352	80,906	553				
その他包括利益累計額	7,666	7,276	-390				
非支配株主持分	1,048	1,023	-25				
純資産合計	89,067	89,205	138				
負債・純資産合計	141,124	143,636	2,511				
(自己資本比率)	62.4%	61.4%					

設備投資額/減価償却費推移 過去5年

ニッパグループ



2017年11月期第2四半期の設備投資実績(資産計上)は約10億円です。通期の設備投資は製造設備更新や施設営繕等、合計で約47億円を計画しております。

II. 2018年11月期 業績予想



2018年11月期 業績予想の概要



売上高 1,130.0億円（前期比 9.2%増 ↑）

営業利益 80.0億円（前期比 4.2%減 ↓）

経常利益 85.0億円（前期比 6.5%減 ↓）

親会社株主に帰属する

当期純利益 53.0億円（前期比 0.6%増 ↑）

事業環境認識

事業部	事業環境
衣料繊維事業	スクールユニフォーム:国内市場は緩やかに縮小 ビジネスユニフォーム:2018年以降はオリンピック特需の見込み 売糸:国内毛糸(ウール)市場は縮小 海外市場:スクールユニフォームは中国市場で拡大の見込み 羊毛原料価格:中国の需要が旺盛、上昇トレンド継続の見込み
産業機材事業	産業資材:車両、環境分野は海外市場で拡大の見込み 生活用資材:テニスガット、釣り糸とも市場は成熟(特に国内) 産業用機械:工場の省力化、自動化の波が今後も持続
人とみらい開発事業	SC・不動産:国内市場は飽和状態 介護・保育事業:国内市場は拡大の見込みも競争激化
生活流通事業	Eコマース:引き続き市場拡大の見込み ホビークラフト:国内・海外市場共に成熟 (スタンプ・インク)

2018年11月期 重点方針



“未開の分野に目を向け、「高機能商品」「地域No1サービス」の開発と提供へ挑戦し、みらい生活創造企業を目指す。”

- ①成長ドライバーの育成
- ②構造改革の推進
- ③グローバル展開の推進
- ④資本効率を意識した事業運営
- ⑤チャレンジする人財の育成と成果に報いる人事制度の開発
- ⑥コンプライアンスの徹底による信頼される企業グループづくり

2018年11月期 業績予想



(金額:百万円)

2018年11月期の業績予想は当初予想通り前年同期比で増収減益の見通し

	実績	予想		前期比増減		中計最終年度
	2017/11期	2018/11期		金額	比率 (%)	2019/11期
		当初	7.12時点			
売上高	103,498	113,000	113,000	9,502	9.2%	120,000
営業利益	8,348	8,000	8,000	-348	-4.2%	9,000
営業利益率	8.1%	7.1%	7.1%	-1.0%	-	7.5%
経常利益	9,089	8,500	8,500	-589	-6.5%	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,270	5,300	5,300	30	0.6%	6,300
ROE	6.2%	6.0%	6.0%	-0.2%	-	7.0%

セグメント別業績予想



(金額:百万円)

		実績	予想		前期比増減		中計最終年度
		2017/11期	2018/11期		金額	比率 (%)	2019/11期
			当初	7.12時点			
衣料繊維	売上高	35,957	39,100	37,300	1,343	3.7%	44,000
	営業利益	2,017	2,500	2,000	-17	-0.8%	3,300
	営業利益率	5.6%	6.4%	5.4%	-0.2%	-	7.5%
産業機材	売上高	20,545	22,100	22,200	1,655	8.1%	22,000
	営業利益	1,657	1,500	1,500	-157	-9.5%	1,692
	営業利益率	8.1%	6.8%	6.8%	-1.3%	-	7.7%
人とみらい開発	売上高	34,470	37,600	39,500	5,030	14.6%	40,000
	営業利益	5,485	5,250	5,600	115	2.1%	6,250
	営業利益率	15.9%	14.0%	14.2%	-1.7%	-	15.6%
生活流通	売上高	12,523	14,200	14,000	1,477	11.8%	15,000
	営業利益	656	640	740	84	12.8%	711
	営業利益率	5.2%	4.5%	5.3%	0.1%	-	4.7%
その他調整	売上高	0	0	0	0	-	-1,000
	営業利益	-1,469	-1,890	-1,840	-371	-	-2,953
合計	売上高	103,498	113,000	113,000	9,502	9.2%	120,000
	営業利益	8,348	8,000	8,000	-348	-4.2%	9,000
	営業利益率	8.1%	7.1%	7.1%	-1.0%	-	7.5%

衣料繊維事業 RN130第1次中計進捗

ニッケグループ

(金額:百万円)

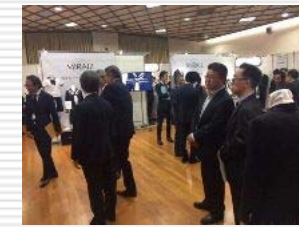
	RN130第1次中計				
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	2018/11期		2019/11期 計画
			当初予想	7.12時点予想	
売上高	37,556	35,957	39,100	37,300	44,000
営業利益	2,610	2,017	2,500	2,000	3,300
営業利益率	6.9%	5.6%	6.4%	5.4%	7.5%

RN130第1次中計 重点施策等

- ①制服ビジネスの海外展開
- ②戦略商材「MIRAIZ」の拡販
- ③海外向け売糸、テキスタイル事業の拡大
- ④機能素材(防災素材・防刃素材等)の国内外への販売促進
- ⑤製造力・開発力の強化 等

<戦略商材「MIRAIZ」の拡販>

「MIRAIZ」シリーズにプロパー詰襟、別注ブレザーを新たに投入。6月に展示会を開催し、「MIRAIZ」ブランドの浸透と拡販を図る。



ニッケ展示会「NIKKE SCHOOL EXPO 2018」の様子

産業機材事業 RN130第1次中計進捗

ニッパグループ

(金額:百万円)

	RN130第1次中計				
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	2018/11期		2019/11期 計画
			当初予想	7.12時点予想	
売上高	18,775	20,545	22,100	22,200	22,000
営業利益	1,023	1,657	1,500	1,500	1,692
営業利益率	5.4%	8.1%	6.8%	6.8%	7.7%

RN130第1次中計 重点施策等

- ①産業用資材
車両用、環境用資材で海外事業を拡大
- ②生活用資材
「GOSEN」ブランドを確立し海外へ展開
- ③産業用機械:
海外で通用する設計・サービス・コストを実現 等

<産業用資材の海外事業拡大>

2017年10月に産業用資材および設備の(株)エミーを子会社化。グローバルネットワークと既存の事業拠点を活用し、海外事業の拡大を図る。



フィルターバッグ「ADMIREX」



不織布「ヒメロン」

人とみらい開発事業 RN130第1次中計進捗

ニッケグループ

(金額:百万円)

RN130第1次中計					
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	2018/11期		2019/11期 計画
			当初予想	7.12時点予想	
売上高	34,592	34,470	37,600	39,500	40,000
営業利益	5,108	5,485	5,250	5,600	6,250
営業利益率	14.8%	15.9%	14.0%	14.2%	15.6%

RN130第1次中計 重点施策等

- ①ライフサポートビジネスの拡大
- ②資産効率の改善と、共同プロジェクトによる新規事業立ち上げ
- ③SCリニューアルによる顧客満足向上
- ④保育事業への参入
- ⑤フランチャイズ事業等の更なる拡大 等

<ライフサポートビジネスの拡大>

ニッケグループの総合力を活かし、スポーツ、介護、キッズ・保育事業の更なる拡大を図る。

2018/上期開業 保育事業:1拠点、キッズ事業:1拠点



ぽっかぽっか につけ保育園北方
(2018/4開園)



ビュアハートキッズランド コロコロ甲子園
(2018/4 OPEN)

生活流通事業 RN130第1次中計進捗



(金額:百万円)

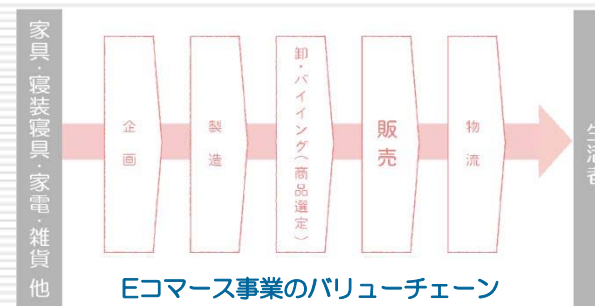
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	RN130第1次中計		2019/11期 計画
			2018/11期		
			当初予想	7.12時点予想	
売上高	10,055	12,523	14,200	14,000	15,000
営業利益	498	656	640	740	711
営業利益率	5.0%	5.2%	4.5%	5.3%	4.7%

RN130第1次中計 重点施策等

- ①M&Aの実施による各事業セグメントの拡大
- ②Eコマース事業で新たな物流拠点を確立し、収益拡大を目指す。
- ③将来性、社会貢献性の高い新規事業の発掘 等

<Eコマース事業の拡大>

2018年3月にネットショップ運営会社(株)AQUAを子会社化。Eコマース事業のバリューチェーン強化を図る。



III. 株主還元



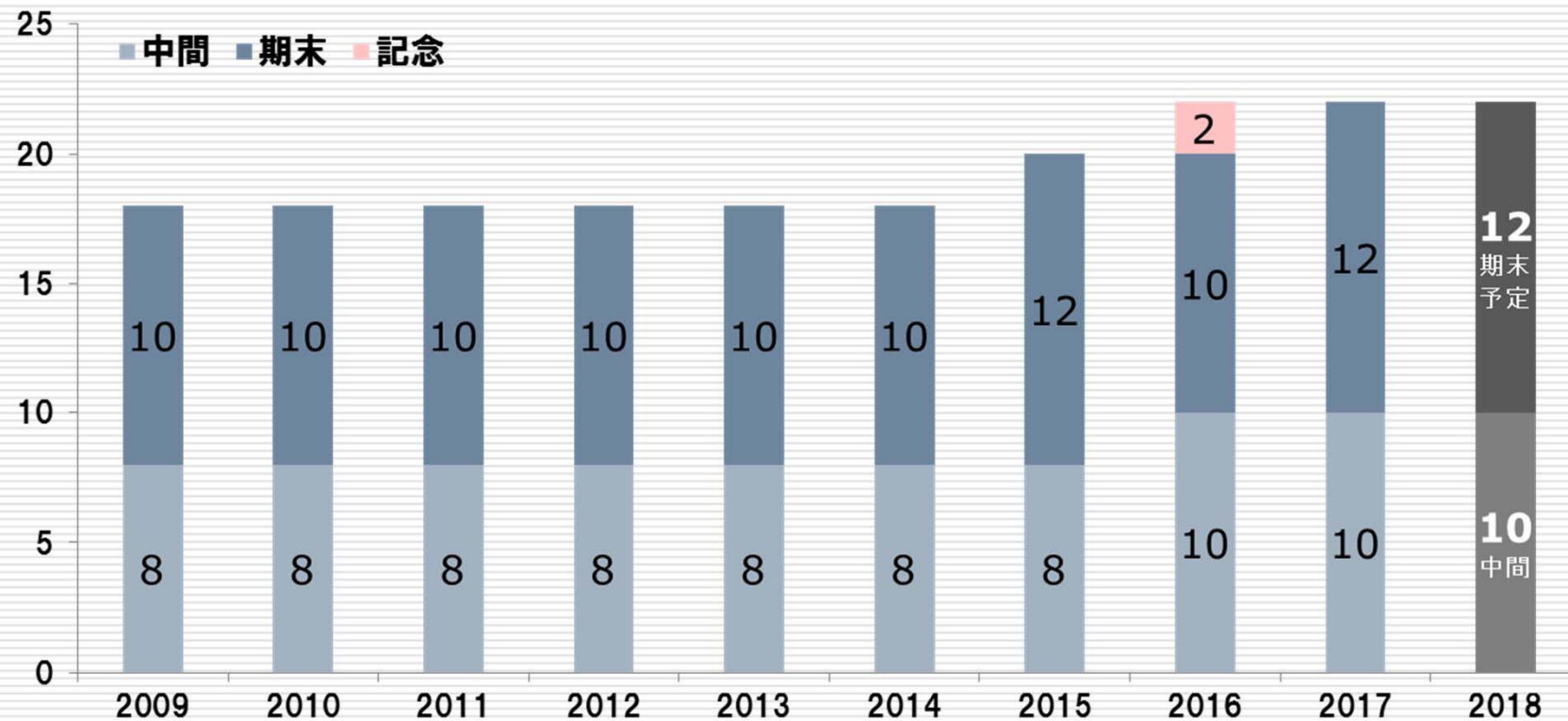
資本政策・株主還元

- ①成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向する。
- ②成長投資については、研究開発投資、M & A投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から積極的に実行する。
- ③株主還元については、減配しない安定的な配当政策を継続する。配当性向30%以上を目指し、利益水準に応じて配当を引き上げていく。自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させる。

1株あたり配当

ニッパグループ

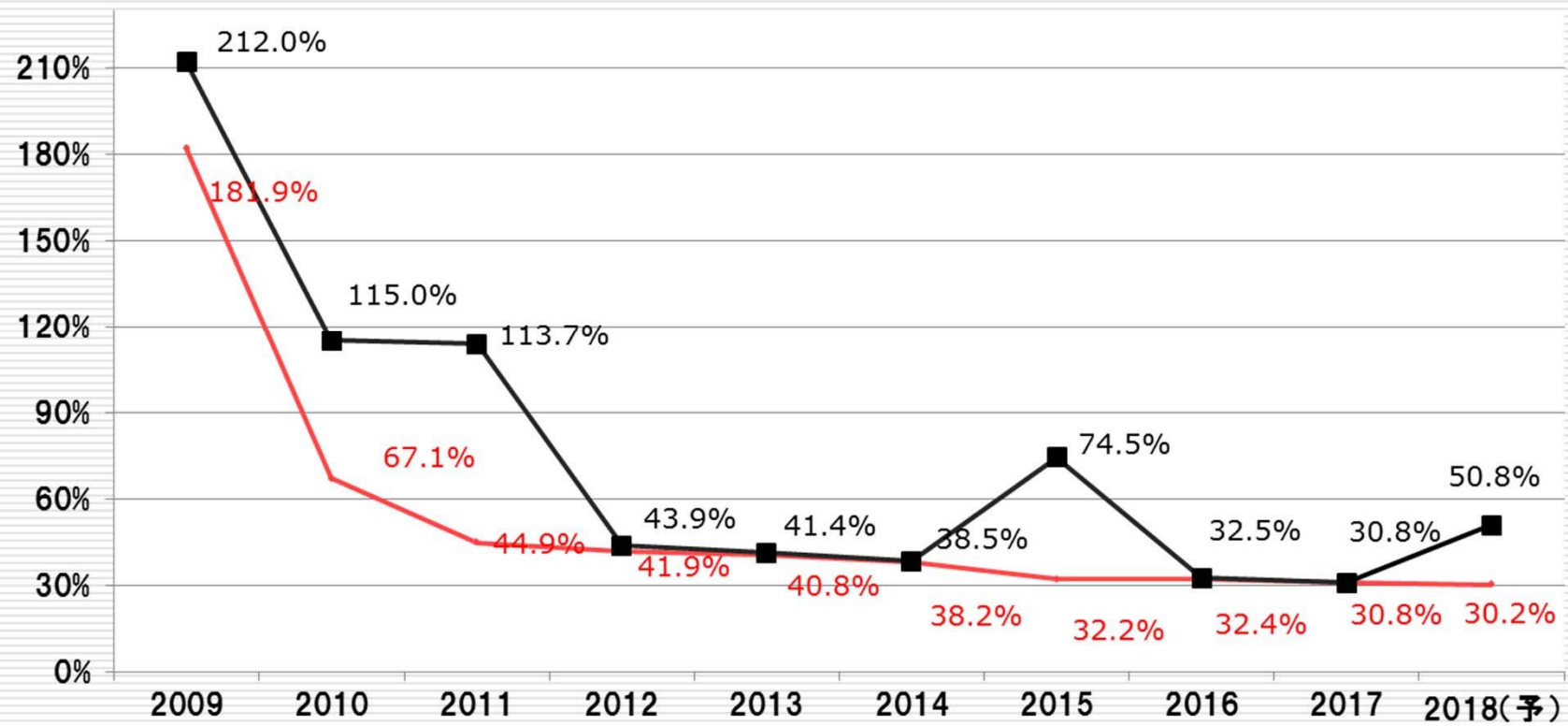
2018年11月期は、1株あたり年間22円を予定



配当性向・総還元性向

ニッパグループ

— 配当性向 —■ 総還元性向



IV. トピックス

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



株式会社AQUAの株式取得(2018年3月)

ニッケグループ

2018年3月に当社は株式会社AQUA(以下、AQUA)を完全子会社化しました。AQUAは、自社及び楽天市場、yahoo!ショッピングなどのネットモールで、「セレクトショップAQUA」、「アクアプリモ」の名称で、主に生活家電やインテリア雑貨、化粧品などを販売しているネットショップ運営会社です。当社は、「ニッケグループRN130 第1次中期経営計画」で、E コマース事業の拡大を掲げており、今後は、商品企画・卸から小売まで一気通貫したバリューチェーンの強化を目指して参ります。

<株式会社AQUA概要>

代表者 : 藤井 裕士
 本店所在地 : 横浜市戸塚区戸塚町6002 番地41
 設立年月日 : 2004(平成16)年10月12日
 資本金 : 1,000 万円
 従業員数 : 35 名
 事業内容 : デザイン家電、インテリア雑貨、
 化粧品のネット販売・小売
 売上高 : 19 億円(直近期)



WEBショップ「Select + Shop AQUA」のリアルショップ 町田マルイ店



AQUAが運営するネットショップサイト <https://www.importshopaqua.com/>

「安碧克(上海)貿易有限公司」の事業拡大

ニッケグループ

当社は、「ニッケグループRN130第1次中期経営計画」で、海外ビジネスの拡大を基本戦略に掲げ、産業機材事業においては、中国市場に向けた環境装置の拡販に注力してきました。安碧克(上海)貿易有限公司は、当社の連結子会社 アンビック株式会社(本社:兵庫県姫路市)の100%子会社として2012年に設立され、中国市場に向けた集じん用装置などの製品の販売を担い、中国における深刻な大気汚染を背景とした環境規制強化を追い風に業容を拡大してきました。今般、増資を行うことにより更なる事業拡大を図って参ります。

<安碧克(上海)貿易有限公司の概要>

所在地 : 中国上海市長寧区
設立日 : 2012(平成24)年5月29日
出資比率: アンビック株式会社(当社100%子会社)
事業内容: 集じん用フィルター等の不織布製品の販売
売上高 : 103百万人民元(直近期)

<増資内容>

増資金額 : US\$ 1,000,000
増資後資本金 : US\$ 2,000,000
増資引受人 : アンビック株式会社
払込時期 : 2018年7月実施



集じん用フィルター

バイリンガル幼稚園「Kids Duo International ニッケコルトンプラザ市川」開園予定(2019年4月)

ニッケグループ



【園内イメージ（新アネックス棟2階）】

<概要>

- ①名称：Kids Duo International ニッケコルトンプラザ市川
- ②所在地：千葉県市川市鬼高1丁目1-1 ニッケコルトンプラザ内
- ③施設面積：2,471㎡（園庭含む）
- ④開園日：2019年4月1日
- ⑤対象年齢：年少々～年長（2歳児～5歳児）
- ⑥開園時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00（土日祝休、延長保育あり）
- ⑦定員 432人（4学年、合計15クラス）

NIKKE LIFE
株式会社ニッケライフ



【新アネックス棟アウトモール側外観イメージ】

株式会社ニッケライフは、認可保育・学童保育事業に続く第3弾としてバイリンガル幼稚園を2019年4月開業予定のニッケコルトンプラザ・（仮称）新アネックス棟（千葉県市川市）に開園します。認可外保育を運営するに当たっては、「Kids Duo International」（キッズデュオインターナショナル）を運営する株式会社やる気スイッチグループホールディングス傘下の株式会社拓人こども未来と提携し、フランチャイズ方式で園の運営を行って参ります。

自己株式の取得



当社は、2018年2月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、2018年4月27日をもちまして買付け(約定ベース)を終了致しました。

取得した株式の種類	: 当社普通株式
取得した株式の総数	: 1,000,000株 (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:1.36%)
株式の取得価額の総額	: 1,094,100,000円

V. 参考資料

会社概要



会社名	日本毛織株式会社(通称ニッケ)
本社	大阪府中央区瓦町3丁目3-10
代表者	代表取締役 富田 一弥
設 立	1896年(明治29年)12月3日
資本金	6,465百万円
連結売上高	103,498百万円(2017/11時点)
従業員数	連結:4,899名 単体:510名(2017/11時点)
上場区分	東証1部
単元株	100株

沿革

ニッケグループ

1896年(明治29年)	日本毛織株式会社を設立(12月)		1996年(平成8年)	ニッケ創立100周年を迎える 一宮市に「ニッケ創作工房」を開設	
1899年(明治32年)	加古川工場操業開始		1998年(平成10年)	中国青島市に「青島日毛織物有限公司」設立	
1900年(明治33年)	陸海軍省に初めて毛布を納入		2002年(平成14年)	東京支社を八重洲に移転 「ブルミエール・ヴィジョン」にアジアから初めて出展 アンビック(株)を子会社化 中国の江陰日毛紡績有限公司買収	
1901年(明治34年)	ラシャの製造開始		2003年(平成15年)	株式会社ジー・シー・シーを子会社化	
1912年(明治45年)	梳毛糸・モスリンの製造開始		2006年(平成18年)	株式会社ゴーセンを子会社化	
1919年(大正8年)	印南工場操業開始		2007年(平成19年)	「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」策定 定年制65歳に延長決定	
1937年(昭和12年)	神戸市神戸区明石町47に本社ビル(現本店)建設		2008年(平成20年)	通称社名「ニッケ(NIKKE)」を採用 組織改正により6つの事業領域に区分	
1949年(昭和24年)	東京証券取引所1部に上場(5月16日)		2012年(平成24年)	日毛(上海)管理有限公司を設立 安碧克(上海)貿易有限公司を設立 ゴーセン・タイランド社を設立 組織改正により4つの事業領域に区分	
1956年(昭和31年)	ニホンケオリ・アルゼンチナ設立(1981年閉鎖) 昭和天皇・皇后両陛下が加古川工場に行幸啓		2013年(平成25年)	(株)ツキネコを子会社化 ニッケまちなか発電所明石土山開業 ニッケ・タイランド設立	
1958年(昭和33年)	鶴沼工場(現岐阜工場)操業開始		2014年(平成26年)	ニッケテキスタイル(株)設立	
1964年(昭和39年)	日本でのウールマークの使用認可第1号を取得		2015年(平成27年)	本社ビル1階に事業紹介コーナーを開設 日本バムコ(株)を子会社化 杉本織物(株)を子会社化 一宮事業所の紡績・整理技術を岐阜工場、印南工場へ集約	
1970年(昭和45年)	機械製作所設置(1978年株式会社ニッケ機械製作所として独立)		2016年(平成28年)	ミヤコ商事(株)を子会社化 (株)こどものかおを子会社化 「ニッケグループ中長期ビジョン(RN130ビジョン)」策定 創立120周年を迎える	
1984年(昭和59年)	加古川市にショッピングセンター「ニッケパークタウン」をオープン		2017年(平成29年)	プレミアムオーダースーツ「NIKKE1896」神戸店オープン ニッケパークタウン「ミーツテラス」オープン (株)エミーを子会社化	
1988年(昭和63年)	市川市にショッピング・飲食・スポーツなどの複合施設「ニッケコルトンプラザ」オープン				
1991年(平成3年)	大阪市中央区瓦町3-3-10に現ニッケ本社ビル完成				
1995年(平成7年)	双洋貿易(株)を買収、馬具・乗馬用品の製造・販売事業へ進出				

事業紹介 衣料繊維/産業機材事業

ニッケグループ



衣料繊維事業

衣料用途を中心とした
高性能素材・製品の開発・製造・販売

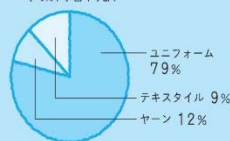
グループ会社(2018年4月現在)

株式会社ナカヒロ、アカツキ商事株式会社、佐藤産業株式会社、株式会社ニッケファブリック、大成毛織株式会社、ニッケテキスタイル株式会社、尾州ウール株式会社、株式会社ニッケ起ダイン、金屋ニット株式会社、株式会社キューテック、杉本機物株式会社、青島日毛織物有限公司、江陰日毛紡織有限公司

事業別売上比率



事業内容内訳



強み

〔製造力〕
伝統と革新によって
築いた製造力

変遷

衣料繊維事業は祖業となる繊維事業をベースに
ユニフォーム、テキスタイル、糸の3つの事業で構成され、
2009年度に事業部として発足しました。



産業機材事業

ウールから化繊、糸から紐・フェルト・不織布の
開発・製造・卸売/産業用機器の設計・製造・販売

グループ会社(2018年4月現在)

株式会社ニッケ機械製作所、アンピック株式会社、日本フェルト工業株式会社、江陰安碧克特種紡織品有限公司、安碧克(香港)有限公司、安碧克(上海)貿易有限公司、株式会社コーセン、ホクレン株式会社、上海高織制紐有限公司、コーセンタイランド、ニッケタイランド、株式会社エミー、徳明貿易(廈門)有限公司、EMI Trading & Engineering (India) Pvt. Ltd.

事業別売上比率



事業内容内訳



強み

〔設計力・開発力〕
顧客のニーズに
応える設計力・開発力

変遷

産業機材事業は繊維工場の修繕部門が独立し発展した(株)ニッケ機械製作所、
フェルト製造・販売のアンピック(株)、糸の製造・販売の(株)コーセンの3つの
グループ会社で構成され、2013年度に事業部として発足しました。

事業紹介 人とみらい開発/生活流通事業

ニッケグループ



人とみらい開発事業

「街づくり」を主眼とした地域共生型のサービス提供
および不動産開発

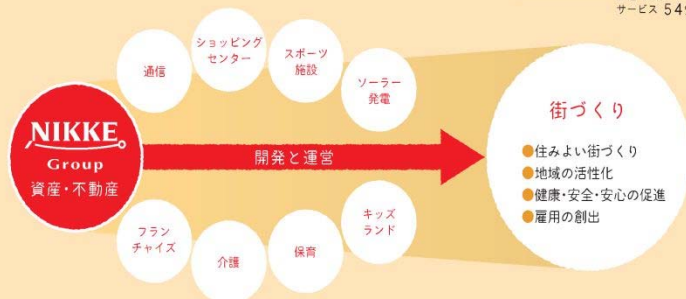
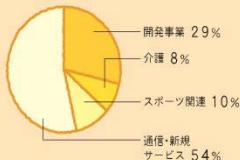
グループ会社(2018年4月現在)

ニッケ不動産株式会社、株式会社ニッケレジャーサービス、株式会社ニッケインドアテニス、株式会社ニッケ・ケアサービス、日本パムコ株式会社、株式会社ジーシーシー、ニッケアクアデオSAD株式会社、ニッケ・タウンパートナーズ株式会社、株式会社ニッケライフ 等

事業別売上比率



事業内容内訳



強み [信用力]
街づくりで
積み重ねた信用力

変遷 人とみらい開発事業は繊維に次ぐ第2の柱を育てるべく、昭和50年代に本格化した開発事業をベースに介護、レジャー、通信・新規サービス等の事業で構成され、2013年度に事業部として発足しました。



生活流通事業

商社機能を活かした、グループ内外に対する
販売・物流サービスの提供

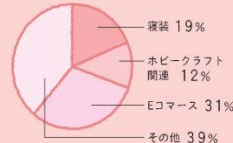
グループ会社(2018年4月現在)

ニッケ商事株式会社、株式会社ニッケ物流、株式会社ナイスデイ、株式会社こどものかお、株式会社友栄、株式会社ツキネコ、株式会社ニットファミリー、ミヤコ商事株式会社、株式会社AQUA 等

事業別売上比率



事業内容内訳

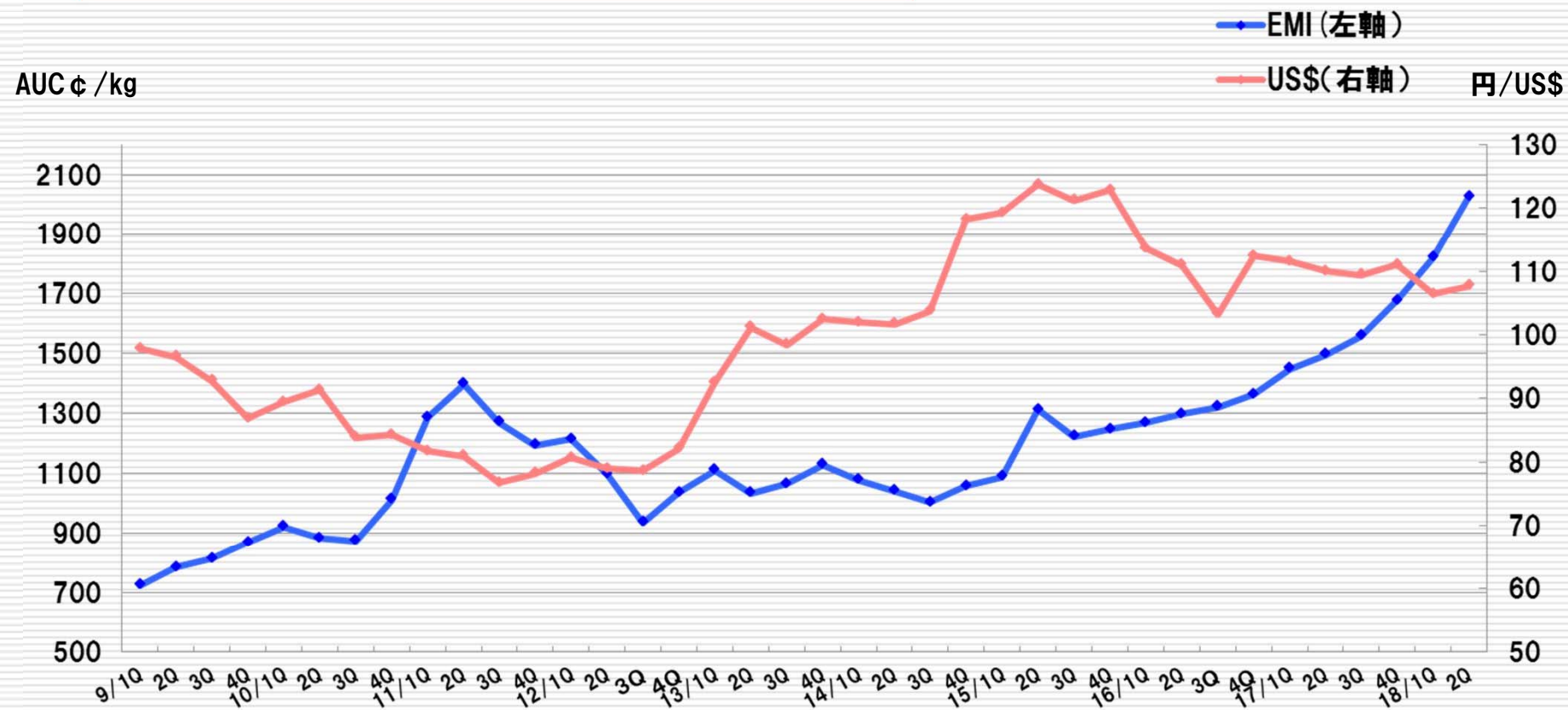


強み [発想力]
事業の枠に捉われない
自由な発想力

変遷 生活流通事業部は祖業である毛布の製造販売を取り扱う寝装事業をベースに、ホビー関連、Eコマース、貿易代行等の事業で構成され、2009年度に事業部として発足しました。

羊毛相場・為替相場の推移について

ニッセイグループ



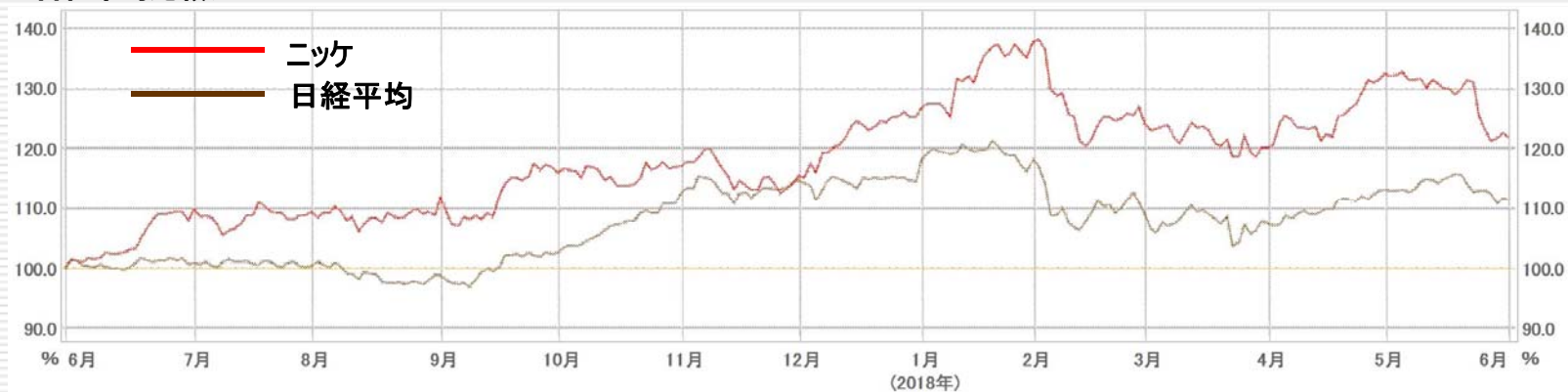
株価チャート 期間:2017/6/1~2018/5/31(直近1年)

ニッケ グループ

<当社株価チャート>



<日経平均比較チャート>



**IRに関するお問い合わせ
ニッセイ(日本毛織株式会社)
経営戦略センター総務法務広報室
TEL 06-6205-6601**

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。